

令和5年8月28日

第564号

横浜市立日吉台小学校

吉井 宣明

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

# ひよびだい

## エンジョイ、自分で考え行動すること

校長 吉井 宣明

夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が戻ってまいりました。今年の夏も例年にも増して暑い夏でした。都心をはじめ日本各地で最高気温が35℃以上となる猛暑日の日数が過去最多を記録しました。この暑さの原因は、人間の経済活動がもたらす二酸化炭素濃度上昇による地球温暖化や、アスファルトやコンクリートなどで覆われ、温められた熱が逃げにくい構造になっている都市部で起こるヒートアイランド現象などだと言われています。いずれにせよ人間の活動によるものです。暑くなると涼を求めて水遊びが盛んになりますが、今年も川や湖で子どもを含む多くの水難事故がニュースで報道され心を痛めました。

一方、嬉しいニュースもありました。全国高校野球選手権記念大会にて慶應義塾高校（以下慶應）が107年ぶり2度目の優勝を果たすという快挙を達成しました。日吉の町ではいたるところにお祝いのポスターが張られ、号外が店などで掲示されています。町を挙げて盛り上がっている様子がテレビで紹介されました。「エンジョイ・ベースボール」を掲げた慶應野球部は、本当に野球を楽しんでいるように見えました。今年の甲子園は、高校球児の脱丸刈りが話題になりました。慶應も髪型を自由とする学校の一つで、慶應の高校生も新しい「高校球児らしい」爽やかさを感じさせてくれました。また、慶應野球部は自主性を重んじ、「自分で考える」ことを大切にしているとも聞きました。練習メニューも自分たちで決めているとのこと。監督は、盗塁を自分の判断で行い失敗しても決して叱らないとのことでした。スクイズのサインが出された打者が、コーチに前回の球筋から判断して、スクイズよりヒットを狙う方がよいと思い、打っても良いかとコーチに許可をもらってヒットを打ち、その後の試合の流れを変えたということも過去にあったそうです。まさに指示されて動くのではなく、自分で過去のデータや状況から自ら判断し、それが成功に結びついたエピソードです。本校も教育目標で「みずから生きる」を掲げていますが、やはり目標に向かって自分で考え、行動する大切さを感じさせてくれ、これからの教育の指針を示してくれた思いです。



この夏は、新型コロナウイルス感染症の5類移行で、規制緩和が進んだおかげもあり各地域のお祭りにもぎやかにとり行われました。本校を会場とした盆踊りは、本校のゆるキャラ「ぶんかちゃん」も特別出演し、大変な盛り上がりでした。しかし、7月下旬に、神奈川県内の1医療機関あたりの新型コロナウイルス感染症感染者数が10人を超えましたという情報もあります。現在はピークを過ぎたようですが、引き続き手洗い・咳エチケットなどの学校における基本的な感染症対策を行っていきます。換気については、当面の間、教室の常時換気を行うこととします。夏季や冬季、荒天時など常時換気が難しいときは、CO<sub>2</sub>モニターを活用し、適切に換気のタイミングを図ってまいります。

夏休み明けも熱中症、感染症など心配なことはありますが、適切に対処しつつ、安心・安全な教育活動を職員一同目指してまいります。よろしくお願いたします。